7-2 北陸・中部地方の地殻変動

Crustal Movements in the Hokuriku and Chubu District

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

[水準測量]

第1図は、知多市から名古屋市に至る水準路線の8年間の上下変動である。特段の変動は見られない。

第2図は,名古屋から浜松市に至る水準路線の8年間の上下変動である.浜松市に隆起が見られる. 第3図は中京地方の水準測量結果である.顕著な変動は見られない.

[水準測量 網平均結果]

第4図は北陸・中部地方の網平均後の約7年間の上下変動の分布図である. 能登半島西岸の輪島 市門前町(もんぜんまち)大泊(おおどまり)付近の水準点で,2007年3月25日に発生した平成 19年(2007年)能登半島地震に伴う地殻変動に伴う最大約41cmの隆起が見られる.

[GPS 高度地域基準点測量(繰り返し観測)]

第5~6図は、中部地方の三角点の GPS 繰り返し観測の結果から求めた地殻水平ひずみである. 最近約10年、18年、30年、118年間の水平ひずみをみると、特に、新潟-神戸ひずみ集中帯にあたる領域で、西北西-東南東方向の圧縮が見られる.ひずみ速度は、0.2ppm/年前後とみられる.

参考文献

1)	国土地理院,	2004,	中部・近畿地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 72, 510-514.	
2)	国土地理院,	2005,	北陸地方の地殻変動,地震予知連絡会会報,73,269-317.	
3)	国土地理院,	2005,	中部・近畿地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 73, 426-463.	
4)	国土地理院,	2005,	北陸地方の地殻変動,地震予知連絡会会報,74,331-345.	
5)	国土地理院,	2005,	中部・近畿地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 74, 365-380.	
6)	国土地理院,	2006,	北陸地方の地殻変動,地震予知連絡会会報,75,443-450.	
7)	国土地理院,	2006,	長岡における絶対重力測定, 地震予知連絡会会報, 75, 451-452.	
8)	国土地理院,	2006,	北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 76, 446-463.	
9)	国土地理院,	2007,	北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 78, 424-456.	
10)	国土地理院,	2008,	北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 79, 403-477.	
11)	国土地理院,	2008,	北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 80, 374-411.	
12)	国土地理院,	2009,	北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 81, 483-490.	
13)	国土地理院,	2009,	北陸・中部地方の地殻変動, 地震予知連絡会会報, 82, 341-347.	
14)	国土地理院,	2010,	北陸・中部地方の地殻変動,地震予知連絡会会報,83,393-398.	





中京の上下変動

特段の変化は見られない.



第3図 中京の上下変動

Fig. 3 Results of leveling survey around Nagoya city.



第4図 北陸・中部地方の上下変動 Fig. 4 Vertical crustal displacements in Hokuriku and Chubu districts.

高度地域基準点測量による中部日本地方の水平歪





第5図 測地測量結果による中部地方の水平歪 Fig. 5 Crustal horizontal strain of Chubu districts calculated from geodetic survey results.

高度地域基準点測量による中部日本地方の水平歪



- 第6図 測地測量結果による中部地方の水平歪
- Fig. 6 Crustal horizontal strain of Chubu districts calculated from geodetic survey results.

20